2018年
11月
22日
小雪

東風

仙北市立
生保内中学校長室報

〒 014-1201
仙北市田沢湖生保内
字武蔵野105－1

http://www.city.semboku.akita.jp/sc_obochu/index.html
e-mail:obochu@sc.city.semboku.akita.jp　TEL0187-43-1181　FAX0187-43-3632

小雪　しょうせつ

「小雪」は、新暦の11月22・23日ごろで、北国では雪が降りはじめる季節です。

雪の便りが、アナウンスされる季節になりました。放課後の活動時間も制約され、3年生は黙々と学力向上に勤しんでいます。また、春の公式戦を迎えるまでの長いオフシーズンとなる部活動は、じっくりと課題克服に取り組んでいるところです。

子どもたち一人一人が、あらゆる諸活動を良好な形で推進するために、自分の姿（現状）を客観的に見つめるとともに、その姿は自分が描く将来の姿と、どのように結びついているのかを自身で客観的な評価をすることは大切です。

そして、”今”を大事にすることを確認してほしいと思っています。

自分本位の考え、言動に根拠もなく『何とかなる』の人生は、現代社会を生き抜く上ではなかなか厳しいと思います。世の中そんなに甘くはないのですから。

臺北市立北投國民中學との交流

11月5日、台湾の北投中學を訪問してきました。

今後、交流を通して、改めて「ふるさと」を見つめ、「ふるさと」とのつながりを深めることと、グローバル な視野を広げることを注目したいと思います。

今後の展開にご期待ください。

メッセージカード「おもい」

2年生の保護者の方々によるメッセージ「おもい」②です。

日々の親子の関わりや子どもの言動から、新たな発見が見られるなど、何とも言えない、温かみを感じとることができる「おもい」でいっぱいです。

○ついこの間、母親の背を越したといって喜んでいたと思ったら、気付くと父親に迫る勢いで、どんどん伸びてきた。小学生の頃から身長はそう大きい方ではなく（ちなみに、父親の私も、決して大きい方ではありませんが……）、息子に越される日がくることなど、以前はあまり想像できなかったが、そういう日も遠くないなと、いよいよ感じ始めた今日この頃である。中学校生活も、あと半分。様々な体験を通して、心も体も、より大きく育ってほしいと願っている。

○つい、あれやった？これやった？と口を出してしまいますが、自立心が育ってほしいと最近強く思い、接し方も変わってきました。何にでも前向きに挑戦する気持ちを持ってほしいと願っております。親とも距離を置きはじめる時期だからこそ考えたかもしれませんが。

○2年生も残りわずか。部活に忙しくしていた毎日も過ぎようとしています。3年生になる前に自分が今やるべき事、目標を立てて、それに向かって努力する姿が見たいです。何事も努力なしで結果が出る事はありません。親として協力していくので、目標に向かって頑張れ！

○無我夢中で子育てをしていた幼少期は落ち着きのない我が子を上から見下ろして心配ばかりしていましたが、気が付けば、私の背をずっと越し、逆に見下ろされ、色々と気遣ってくれるようになり、随分頼もしくなりました。人と比べること無く、我が子の成長をしっかりとこれからも見守り続けたいと思います。

○小さい頃には体が弱く病院通いが多かったのですが、ここ数年間は休むことなく丈夫になったと安心していました。つい先日、思いがけず長期休んでしまいました。あらためて健康である事の幸せを感じました。

○今では、早いもので、あっという間に中学2年生。おばあちゃんだった○○が、最近はTVとLINEとYouTubeに夢中で、少し寂しい気がします。家での会話が減ったのも成長なのかな（笑）けれども部活動や学校行事を通して、楽しんだりがんばったりしている姿を見ることが、私の楽しみであり、生きがいであり、幸せに感じることです。

これからも、目標に向かってがんがんがんばってほしいです。

○私が中学生だった頃、どんな風に毎日過ごしたのか、最近良く思うことがあります。親が子供の為にと思って言っていることは、はたして本当に子供の為なのか。もしかしたら自分の都合の良いことを言っているのではないかと思うことがあります。朝はいつも「早くして」のくり返し。「勉強しなさい」「早く寝なさい」命令口調ばかり。本当は親の私が余裕がないんだね。ごめんね。でもあなたのことが一番大切な一人だよ。